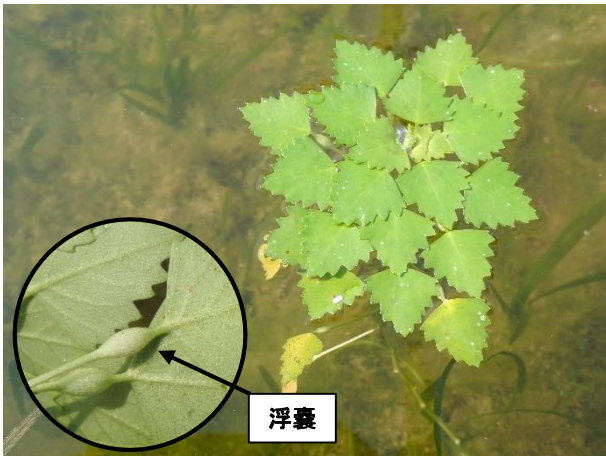


植物多様性センターの「水草の浮葉」

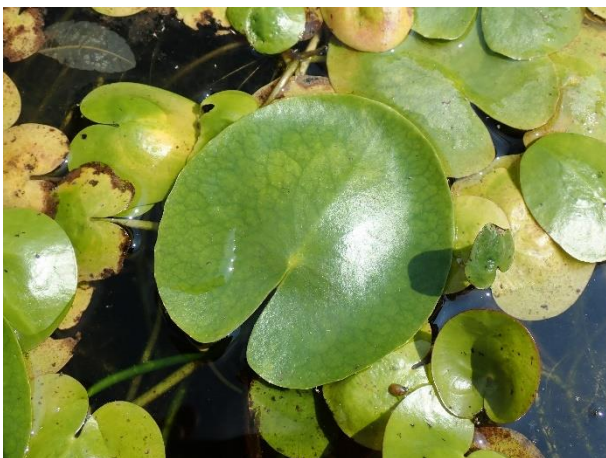
水草の葉は大きく分けて3種類あり、水面に浮かぶ浮葉（ふよう）、水中にある沈水葉（ちんすいよう）、水面を突き抜けて空中に出る抽水葉（ちゅうすいよう）に分けられます。浮葉には葉を浮かべるために、水をはじいたり、浮囊（ふのう）があったり、通常は葉の裏面にある気孔を表面につけたりと、種によって多くの工夫があります。植物多様性センターの屋外水槽にはここに載せたもの以外にも多くの水草があります。夏に花が咲く水草も多いので、是非観察してみてくださいね。



ヒシ: 葉柄の中央部が膨らみ、浮囊となっている。



トチカガミ: 葉の裏側が膨らんで浮囊になる。



アサザ: 基部は深く切れ込み、浅い鋸歯がある。



ジュンサイ: 葉の裏面や葉柄などが分泌物でぬるぬるしている。